久留	木丄耒同	等専門学	学校   開講年度   令和05年	度 (2023年度)	授	業科目	公共 二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十		
科目基礎	<b>楚情報</b>								
科目番号		2M03		科目区分		一般 / 必			
授業形態		講義		単位の種別と単	位数	履修単位	: 2		
開設学科			·ステム工学科(2017年度以降入学生 和4年度は材料工学科を含む)	三、但 対象学年	2				
開設期		通年		週時間数		2			
教科書/教	材	『政治	・経済資料』東京法令出版(教科書	∄)					
担当教員		益村 舅							
到達目	<u> </u>	•							
		を基礎的だ	経済理論と政策の観点から理解し、	 国民経済、政府の役割	と日本紀		  経済が抱える課題を考える力をつけ		
る。 ②民主政	治の基本原	理、日本国	憲法、日本の政治機構、現代政治のである。						
ルーブ		-31-20-73-7	W11073 C231(C27) W						
<i>// /</i>	<i></i>		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レ	ベルの日				
			経済学の基本的な知識をいかり	1 7					
評価項目1			経済子の基本的な知識をいかり 経済状況について自らの考えず えて説明できる。	を交   経済学の基本的	な知識を	:理解して	経済学の基本的な知識を理解できていない。		
評価項目	2		戦後日本経済の歩みについて し、経済状況について説明で	理解 戦後日本経済の している。	歩みにつ	いて理解	戦後日本経済の歩みについて理解 できていない。		
評価項目	3		民主政治の基本原理や日本国第の基本原理について理解し、 の意見を述べることができる。	自ら の基本原理につ	原理や日 いて理解	民主政治の基本原理や日本国憲法 の基本原理について理解していな い。			
評価項目	4		日本の政治機構と国際政治に て理解し、自らの意見を的確( べることができる。	つい に述 日本の政治機構 て理解している	治につい	日本の政治機構と国際政治につい て理解していない。			
学科の	到達目標	 項目との							
			マポリシー						
概要	<u> </u>	広い視。前期	野を持ち、現代における政治、経済 では経済学分野、後期では政治分野		て客観的		、公正な判断力の涵養を目指します。・経済問題について主体的に考え		
伽女		= 至 = <del>  一   -</del>	ユストスにかスプレを日的レー士す						
	め方・方法		きるようになることを目的とします	T.					
	め方・方法	基本的成績評なお追	きるようになることを目的とします には座学中心です。毎回授業終了時 価は前期後期各試験の点数を平均し 再試は行うこともある。	「。 特に理解度チェックを行 いて算出する。60点以」	います。	毎回配布			
授業の進 注意点		基本的 成績評 なお追 次回以	きるようになることを目的とします には座学中心です。毎回授業終了時 価は前期後期各試験の点数を平均し 再試は行うこともある。 降の授業範囲の専門用語の意味等を	「。 特に理解度チェックを行 いて算出する。60点以」	います。	毎回配布			
授業の進 注意点 授業の)	属性・履	基本的 成績評 なお追 次回以 修上の区	きるようになることを目的とします には座学中心です。毎回授業終了時 価は前期後期各試験の点数を平均し 再試は行うこともある。 降の授業範囲の専門用語の意味等を 分	「。 持に理解度チェックを行 いて算出する。60点以」 ・理解しておくこと。	います。こが合格の	毎回配布	資料をもとに授業を展開します。		
授業の進 注意点 授業の)		基本的 成績評 なお追 次回以 修上の区	きるようになることを目的とします には座学中心です。毎回授業終了時 価は前期後期各試験の点数を平均し 再試は行うこともある。 降の授業範囲の専門用語の意味等を	「。 特に理解度チェックを行 いて算出する。60点以」	います。こが合格の	毎回配布			
授業の進 注意点 <b>授業の</b> I ☑ アクラ	属性・履 <sup>∙</sup> ティブラー:	基本的 成績評 なお追 次回以 修上の区	きるようになることを目的とします には座学中心です。毎回授業終了時 価は前期後期各試験の点数を平均し 再試は行うこともある。 降の授業範囲の専門用語の意味等を 分	「。 持に理解度チェックを行 いて算出する。60点以」 ・理解しておくこと。	います。こが合格の	毎回配布	資料をもとに授業を展開します。		
授業の進 注意点 <b>授業の</b> I ☑ アクラ	属性・履 <sup>∙</sup> ティブラー:	基本的成績評なお追次回以修上の区	きるようになることを目的とします には座学中心です。毎回授業終了時 価は前期後期各試験の点数を平均し 再試は行うこともある。 降の授業範囲の専門用語の意味等を 分	「。 持に理解度チェックを行 いて算出する。60点以」 ・理解しておくこと。	います。 が合格。	毎回配布	資料をもとに授業を展開します。  □ 実務経験のある教員による授業		
授業の進 注意点 <b>授業の</b> I ☑ アクラ	属性・履 <sup>∙</sup> ティブラー:	基本的成績に次回以修上の区ニング	きるようになることを目的としますには座学中心です。毎回授業終了時間は前期後期各試験の点数を平均し、再試は行うこともある。 降の授業範囲の専門用語の意味等を分 □ ICT 利用	「。 持に理解度チェックを行 いて算出する。60点以」 ・理解しておくこと。	います。	毎回配布とする。	資料をもとに授業を展開します。      実務経験のある教員による授		
授業の進 注意点 <b>授業の</b> I ☑ アクラ	属性・履 <sup>∙</sup> ティブラー:	基本的 成績評論 次回以 修上の区 ニング 週 1週	きるようになることを目的とします。 には座学中心です。毎回授業終了時 価は前期後期各試験の点数を平均し 再試は行うこともある。 降の授業範囲の専門用語の意味等を 分  □ ICT 利用  授業内容  政治と経済	「。 持に理解度チェックを行 いて算出する。60点以」 ・理解しておくこと。	います。 が合格。	毎回配布 とする。 の到達目様 経済および 養経済のの	資料をもとに授業を展開します。  □ 実務経験のある教員による授業		
授業の進 注意点 <b>授業の</b> I ☑ アクラ	属性・履 <sup>∙</sup> ティブラー:	基本的 成績記述 次回以 修上の区 ニング 週 1週 2週	きるようになることを目的とします には座学中心です。毎回授業終了時 価は前期後期各試験の点数を平均し 再試は行うこともある。 降の授業範囲の専門用語の意味等を 分	「。 持に理解度チェックを行 いて算出する。60点以」 ・理解しておくこと。	います。 が合格。	毎回配布 とする。 の到達目標 経済およて 養経済の原	資料をもとに授業を展開します。 □ 実務経験のある教員による授業		
授業の進 注意点 <b>授業の</b> I ☑ アクラ	属性・履 <sup>∙</sup> ティブラー:	基本的 成績評論 次回以 修上の区 ニング 週 1週	きるようになることを目的とします。 には座学中心です。毎回授業終了時 価は前期後期各試験の点数を平均し 再試は行うこともある。 降の授業範囲の専門用語の意味等を 分  □ ICT 利用  授業内容  政治と経済	「。 持に理解度チェックを行 いて算出する。60点以」 ・理解しておくこと。	います。 が合格。	毎回配布 とする。 の到達目様 経済およて 養経済の原 養経済の系	資料をもとに授業を展開します。    実務経験のある教員による授業		
授業の進 注意点 <b>授業の</b> I ☑ アクラ	属性・履 Fィブラー <u>-</u> 画	基本的 成績記述 次回以 修上の区 ニング 週 1週 2週	きるようになることを目的とします には座学中心です。毎回授業終了時 価は前期後期各試験の点数を平均し 再試は行うこともある。 降の授業範囲の専門用語の意味等を 分	「。 持に理解度チェックを行 いて算出する。60点以」 ・理解しておくこと。	います。 が合格な 過ごとと 資本た主 資本を発 の関連	毎回配布とする。  の到達目様経済の原養経済にて養経済のです。	資料をもとに授業を展開します。 □ 実務経験のある教員による授業  「経済学との関連について理解する。 な立、資本主義と社会主義の違いといいて理解する。  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
授業の進注意点 注意点 <b>授業の</b> ☑ アクラ	属性・履 <sup>∙</sup> ティブラー:	基本的 成な河口区 ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週	きるようになることを目的とします には座学中心です。毎回授業終了時 価は前期後期各試験の点数を平均し 再試は行うこともある。 降の授業範囲の専門用語の意味等を 分	「。 持に理解度チェックを行 いて算出する。60点以」 ・理解しておくこと。	います。 が合格の	毎回配布 とする。 の到達とはのので 発経体経(のい)には ない、には がは、これには がは がは、これには がは がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、	②料をもとに授業を展開します。  □ 実務経験のある教員による授業  『経済学との関連について理解する。  な立、資本主義と社会主義の違いといいて理解する。  後展過程について理解する。  企業、政府)の活動と経済の循環と 理解し、説明できる  8の決定といった市場メカニズムにつ		
授業の進 注意点 <b>授業の</b> I ☑ アクラ	属性・履 Fィブラー <u>-</u> 画	基本的 成な河口区 上 の区 ニング 週 1週 2週 3週 4週	きるようになることを目的とします には座学中心です。毎回授業終了時 価は前期後期各試験の点数を平均し 再試は行うこともある。 降の授業範囲の専門用語の意味等を 分  □ ICT 利用  授業内容 政治と経済 資本主義経済の成立 資本主義経済の変容  経済主体と経済の循環	「。 持に理解度チェックを行 いて算出する。60点以」 ・理解しておくこと。	います。 が合格の	毎回配布 とする。 の到達とはのので 発経体経(のい)には ない、には がは、これには がは がは、これには がは がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、	②料をもとに授業を展開します。  □ 実務経験のある教員による授業  『  『  『  『  『  『  『  『  『  『  『  『  『		
授業の進 注意点 <b>授業の</b> I ☑ アクラ	属性・履 Fィブラー <u>-</u> 画	基本的 成な河口区 ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週	きるようになることを目的とします には座学中心です。毎回授業終了時 価は前期後期各試験の点数を平均し 再試は行うこともある。 降の授業範囲の専門用語の意味等を 分	「。 持に理解度チェックを行 いて算出する。60点以」 ・理解しておくこと。	います。 が合格な 過ごとと 資本た本済関要で 国民所	毎回配布 とする。 到達目標 発経体経済のにて 養経体経済のにて 養経体経済のにて 大田の代表に、一世の代表に、一世の代表に、一世の代表に、一世の代表に、一世の代表に、一世の代表に、「一世の代表に、」では、「一世の代表に、「一世の代表に、「一世の代表に、「一世の代表に、「一世の代表に、「一世の代表に、」では、「一世の代表に、」では、「一世の代表に、」では、「一世の代表に、」では、「一世の代表に、「一世の代表に、」では、「一世の代表に、」」では、「一世の代表に、」では、「一世の代表に、」では、「一世の代表に、」では、「一世の代表に、」では、「一世の代表に、」では、「一世の代表に、」では、「一世の代表に、」では、「一世の代表に、」では、「一世の代表に、」では、「一世の代表に、」では、「一世の代表に、」では、「一世の代表に、」では、「一世の代表に、」では、「一世の代表に、」」では、「一世の代表に、」」では、「一世の代表に、」」では、「一世の代表に、」」では、「一世の代表に、」」では、「一世の代表に、」」では、「一世の代表に、」」では、「一世の代表に、」」では、「一世の代表に、」は、「一世の代表に、」」では、「一世の代表に、」」では、「一世の代表に、」は、「一世の代表に、」」では、「一世の代表に、」」では、「一世の代表に、」」に、「一世の代表に、、」に、、「一世の代表に、、」に、、「一世の代表に、、」に、、「一世の代表に、、」に、、「一世の代表に、、」は、「一世の代表に、、」は、「一世の代表に、、」は、「一世の代表に、、」は、「一世の代表に、、」は、「一世の代表に、」」に、「一世の代表に、、」は、「一世の代表に、、」は、「一世の代表に、、」は、「一世の代表に、、」は、「一世の代表に、、」は、「一世の代表に、、」は、「一世の代表に、、」は、「一世の代表に、、」」に、、「一世の代表に、、」」に、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	②料をもとに授業を展開します。  □ 実務経験のある教員による授業  『経済学との関連について理解する。  な立、資本主義と社会主義の違いといいて理解する。  後展過程について理解する。  企業、政府)の活動と経済の循環と 理解し、説明できる  8の決定といった市場メカニズムにつ		
授業の進注意点 授業の 図 アクラ 授業計i	属性・履 Fィブラー <u>-</u> 画	基本的 成な次回区 上の区 ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	きるようになることを目的とします には座学中心です。毎回授業終了時 価は前期後期各試験の点数を平均し 再試は行うこともある。 降の授業範囲の専門用語の意味等を 分  □ ICT 利用  授業内容 政治と経済 資本主義経済の成立 資本主義経済の変容 経済主体と経済の循環 市場経済の機能と限界  国民所得の概念	「。 持に理解度チェックを行 いて算出する。60点以」 ・理解しておくこと。	います。 が合格の  が一道  が合格の  が一道  が合格の  が一道  が合格の  が一道  が一道  が一道  が一道  が一道  が一道  が一道  が一	毎回配布とする。	資料をもとに授業を展開します。  □ 実務経験のある教員による授業  「経済学との関連について理解する。 成立、資本主義と社会主義の違いといういて理解する。  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
授業の進 注意点 授業の)	属性・履 Fィブラー <u>-</u> 画	基本的 成な次の区 上グ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	きるようになることを目的とします には座学中心です。毎回授業終了時 価は前期後期各試験の点数を平均し 再試は行うこともある。 降の授業範囲の専門用語の意味等を 分  □ ICT 利用  授業内容 政治と経済 資本主義経済の成立 資本主義経済の変容 経済主体と経済の循環 市場経済の機能と限界  国民所得の概念 金融のしくみと機能	「。 特に理解度チェックを行って算出する。60点以」 定理解しておくこと。  ② 遠隔授業対応	います。が合格のでは、一が合格のでは、一が合格のでは、一が合格のでは、一が一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、	毎回る。	②料をもとに授業を展開します。  □ 実務経験のある教員による授業  『経済学との関連について理解する。 な立、資本主義と社会主義の違いといいて理解する。 企業、政府)の活動と経済の循環と理解し、説明できる  『各の決定といった市場メカニズムにつます。。 『こついて理解し、説明できる。 『こついて理解し、説明できる。 『こついて理解し、説明できる。 『こついて理解し、説明できる。		
授業の進注意点 授業の 図 アクラ 授業計i	属性・履 Fィブラー <u>-</u> 画	基本的 成な次の区 上グ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	きるようになることを目的とします には座学中心です。毎回授業終了時 価は前期後期各試験の点数を平均し 再試は行うこともある。 降の授業範囲の専門用語の意味等を 分	「。 特に理解度チェックを行って算出する。60点以」 定理解しておくこと。  ② 遠隔授業対応  ③ 遠隔授業対応	いがが 過政 資の 震い 国金る 財理 高レ とと 主経 主主連と理所 のし 経シ	毎日 は のに 発表 と で と で で で で で で で で で で で で で で で で	②料をもとに授業を展開します。  □ 実務経験のある教員による授業  「経済学との関連について理解する。  「対立、資本主義と社会主義の違いといいて理解する。  企業、政府)の活動と経済の循環と理解し、説明できる。  「おいて理解する。  「おいて理解する。  「ない、説明できる。  「おいて理解し、説明できる。  「おいて理解し、これでは、これできる。  「おいて、これできる。」  「おいて、これでは、これできる。  「おいて、これできる。」  「おいて、これできる。」  「おいて、これできる。」  「おいて、これできる。」  「おいて、これできる。」  「おいて、これできる。」  「おいて、これできる。」  「おいて、これで、これできる。」  「おいて、これで、これできる。」  「おいて、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで		
授業の進注意点 授業の 図 アクラ 授業計i	属性・履 Fィブラー <u>-</u> 画	基本的 成な次の 上グ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	きるようになることを目的とします には座学中心です。毎回授業終了時 価は前期後期各試験の点数を平均し 再試は行うこともある。 降の授業範囲の専門用語の意味等を 分	「。 特に理解度チェックを行って算出する。60点以」 定理解しておくこと。  ② 遠隔授業対応  ③ 遠隔授業対応	いがが過れる。過れる。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	毎日 では、	資料をもとに授業を展開します。  □ 実務経験のある教員による授業  「経済学との関連について理解する。 成立、資本主義と社会主義の違いとい  で理解する。  ・ 企業、政府)の活動と経済の循環と  理解し、説明できる。  ・ のいて理解し、説明できる。  ・ して金融政策について理解する。  ・ できる。  ・ このいて理解し、説明できる。  ・ して金融政策について理解する。  ・ できる。  ・ して金融政策について理解する。  ・ できる。  ・ して金融政策について理解する。  ・ できる。  ・ できる。		
授業の進注意点 授業の 図 アクラ 授業計i	属性・履 Fィブラー <u>-</u> 画	基本的 成な次の 上グ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	きるようになることを目的とします には座学中心です。毎回授業終了時 価は前期後期各試験の点数を平均し 再試は行うこともある。 降の授業範囲の専門用語の意味等を 分  □ ICT 利用  授業内容 政治と経済 資本主義経済の変容 経済主体と経済の循環 市場経済の機能と限界  国民所得の概念 金融のしくみと機能  財政の役割と税制  日本経済の発展 (1)高度経済成長期〜第一次石田本経済の発展 (2)バブル経済の発生と崩壊 日本経済の発展	「。 特に理解度チェックを行って算出する。60点以」 定理解しておくこと。  ② 遠隔授業対応  ③ 遠隔授業対応	います。   過政資の需い国金の財理高レババリカー   ののでは、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対して	毎日 と	②料をもとに授業を展開します。  □ 実務経験のある教員による授業  「経済学との関連について理解する。 しな、資本主義と社会主義の違いというで理解する。 企業、政府)の活動と経済の循環と理解し、説明できる。  「会社会といった市場メカニズムにつます。」  「おいて理解する。  「ない、説明できる。」 「おいて理解する。  「ない、説明できる。」 「おいて理解する。  「ないて理解し、説明できる。」 「おいて理解する。  「ないて理解し、説明できる。」 「おいて理解する。  「と関連からも説明できる。」 「と関連を表して、これでは、これで理解する。」  「と関係について理解する。  「は、そして全融政策について理解する。」  「と関係について理解する。  「は、これで理解する。  「は、これで理解する。」  「は、これで理解する。  「は、これで理解する。」  「は、これでは、これでは、これで理解する。」  「は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで		
授業の進注意点 授業の 図 アクラ 授業計i	属性・履 ディブラー <u>:</u> 画	基本的 成な次の 上グ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 11週 11週	きるようになることを目的とします。   には座学中心です。  毎回授業終了時間は前期後期各試験の点数を平均します。   に再試は行うこともある。   降の授業範囲の専門用語の意味等を分	「。 特に理解度チェックを行って算出する。60点以」 定理解しておくこと。  ② 遠隔授業対応  ③ 遠隔授業対応	います。 過政資の需い国金る財理高レババリ係 でとと主経主主連と理所ののいい経シルバーつ	毎する 一	②料をもとに授業を展開します。  □ 実務経験のある教員による授業  「経済学との関連について理解する。 しな、資本主義と社会主義の違いというで理解する。 企業、政府)の活動と経済の循環と理解し、説明できる。  「会社会といった市場メカニズムにつます。」  「おいて理解する。  「ない、説明できる。」 「おいて理解する。  「ない、説明できる。」 「おいて理解する。  「ないて理解し、説明できる。」 「おいて理解する。  「ないて理解し、説明できる。」 「おいて理解する。  「と関連からも説明できる。」 「と関連を表して、これでは、これで理解する。」  「と関係について理解する。  「は、そして全融政策について理解する。」  「と関係について理解する。  「は、これで理解する。  「は、これで理解する。」  「は、これで理解する。  「は、これで理解する。」  「は、これでは、これでは、これで理解する。」  「は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで		
授業の進注意点 授業の 図 アクラ 授業計i	属性・履 ディブラー <u>:</u> 画	基本的 成な次の 修上グ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	きるようになることを目的とします。   には座学中心です。  毎回授業終了時   価は前期後期各試験の点数を平均し   再試は行うこともある。   降の授業範囲の専門用語の意味等を   分	「。 特に理解度チェックを行って算出する。60点以」 定理解しておくこと。  ② 遠隔授業対応  ③ 遠隔授業対応	います。 過 政 資つ資 経の需い 国金る 財理高レ バ リ係外 外 の のし 経シ ル ルーン 為	毎する の経義斉義 本こ共解导し、役の済乱、経経、アン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	②料をもとに授業を展開します。  □ 実務経験のある教員による授業  「経済学との関連について理解する。 な立、資本主義と社会主義の違いといいて理解する。 ・ 企業、政府)の活動と経済の循環と理解し、説明できる。 ・ 配け、説明できる。 ・ こついて理解し、説明できる。 ・ こついて理解し、説明できる。 ・ こついて理解し、説明できる。 ・ こついて理解し、説明できる。 ・ として金融政策について理解する。 ・ として金融政策について理解する。 ・ ととの関連からも説明できる。 ・ ととの関連からも説明できる。 ・ ととの関連からも説明できる。 ・ ととの関連がらも説明できる。 ・ ととの関連がらも説明できる。 ・ との関連がらも説明できる。 ・ との日本経済について理解する。 ・ との日本経済について理解する。 ・ とを責説を中心に国際分業と貿易の関 ・ する。		
授業の進注意点 授業の 図 アクラ 授業計i	属性・履 ディブラー <u>:</u> 画	基本的   記述   記述   記述   記述   記述   記述   記述   記述	きるようになることを目的とします。   には座学中心です。  毎回授業終了時間   には座学中心です。  毎回授業終了時間   には前期後期各試験の点数を平均します。   に再試は行うこともある。   に再試は行うこともある。   に再試は行うこともある。   の意味等を   分	「。 特に理解度チェックを行って算出する。60点以」 定理解しておくこと。  ② 遠隔授業対応  ③ 遠隔授業対応	います。 過 政 資 う 資 経の需い 国 金る 財理 高レ バ バ リ 兵 大 本 済 関 要 て 民 融。 政解 度 ー ブ ガ カ に 国 、 の に し に に し に に し に に し に に し に に し に に し に に し に に に に に に に に に に に に に	毎する 一型 の経義斉義本こ共解导し、受済国経経、いいいでは、大いいでは、大いでは、大いのでは、かいのでは、大いのでは、いいのでは、かいでは、かいのでは、かいのでは、かいのでは、かいのでは、かいのでは、かいでは、かいのでは、かいのでは、かいのでは、かいのでは、かいのでは、かいのでは、かいのでは、かいので	□ 実務経験のある教員による授業を展開します。 □ 実務経験のある教員による授業  「経済学との関連について理解する。 な立、資本主義と社会主義の違いといいて理解する。 企業、政府)の活動と経済の循環と理解し、説明できる。 ・ 説明できる。 ・ おいて理解し、説明できる。 ・ さいて理解し、説明できる。 ・ さいて理解する。 ・ とと前壊について理解する。 ・ とと前壊について理解する。 ・ は、発の日本経済について理解する。 ・ は、として金融の関連がらも説明できる。 ・ をとの関連がらも説明できる。 ・ をとの関連がらも説明できる。 ・ をとの関連がらも説明できる。 ・ をとがなる。 ・ ととがなる。 ・ ととがないて理解する。 ・ とをはないて理解する。 ・ とをはないて理解する。		
授業の進注意点 授業の 図 アクラ 授業計i	属性・履 ディブラー <u>:</u> 画	修 本 様 が 上 が 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 8週 9週 10週 11週 12週 3週 4週 6週 8週 9週 11週 12週 13週 13週 14週 15週 16週 16週 16週 16週 16週 16週 16週 16	きるようになることを目的とします には座学中心です。毎回授業終了時 価は前期後期各試験の点数を平均し 再試は行うこともある。 降の授業範囲の専門用語の意味等を 分 □ ICT 利用 □ ICT N □ ICT	「。 特に理解度チェックを行って算出する。60点以」 定理解しておくこと。  ② 遠隔授業対応  ③ 遠隔授業対応	います。 過 政 資 う 資 経の需い 国 金る 財理 高レ バ バ リ 兵 大 本 済 関 要 て 民 融。 政解 度 ー ブ ガ カ に 国 、 の に し に に し に に し に に し に に し に に し に に し に に し に に に に に に に に に に に に に	毎する の経義斉義 本こ共解导し、役の済乱、経経、アン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	□ 実務経験のある教員による授業を展開します。 □ 実務経験のある教員による授業  「経済学との関連について理解する。 な立、資本主義と社会主義の違いといいて理解する。 企業、政府)の活動と経済の循環と理解し、説明できる。 ・ 説明できる。 ・ おいて理解し、説明できる。 ・ さいて理解し、説明できる。 ・ さいて理解する。 ・ とと前壊について理解する。 ・ とと前壊について理解する。 ・ は、発の日本経済について理解する。 ・ は、として金融の関連がらも説明できる。 ・ をとの関連がらも説明できる。 ・ をとの関連がらも説明できる。 ・ をとの関連がらも説明できる。 ・ をとがなる。 ・ ととがなる。 ・ ととがないて理解する。 ・ とをはないて理解する。 ・ とをはないて理解する。		
授業の進注意点 授業の 図 アクラ 授業計i	属性・履 ディブラー <u>:</u> 画	修 本 様 が 上 が 週 1 1 3 週 3 3 週 4 3 週 3 3 週 4 3 週 6 9 週 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	きるようになることを目的とします。 毎回授業終了時間には座学中心です。 毎回授業終了時間には座学中心です。 毎回授業終了時間には座学中心です。 毎回授業終了時間には前期後期各試験の点数を平均します。 日本主義経済の専門用語の意味等を分り	「。 特に理解度チェックを行って算出する。60点以」 定理解しておくこと。  ② 遠隔授業対応  ③ 遠隔授業対応	いが 週 政 資 の 需い 国 金る 財理 高レ バ バ リ係 外 の の の の の の の の の の の の の	毎よりでは、「大学」とは、「大学」は、「大学」とは、「大学」とは、「大学」は、「大学」といい、「大学」は、「大学」といい、「大学」は、「いいい、「大学」は、「いいいいいいい、「いいいいい、「いいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	②料をもとに授業を展開します。 □ 実務経験のある教員による授業  『経済学との関連について理解する。  * *** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **		
授業の進注意点 授業の グロアクラー 授業計	属性・履 ディブラー <u>:</u> 画	修 本 様 が 上 が 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 8週 9週 10週 11週 12週 3週 4週 6週 8週 9週 11週 12週 13週 13週 14週 15週 16週 16週 16週 16週 16週 16週 16週 16	きるようになることを目的とします。   には座学中心です。  毎回授業終了時間   には座学中心です。  毎回授業終了時間   には前期後期各試験の点数を平均します。   に再試は行うこともある。   に再試は行うこともある。   に再試は行うこともある。   の意味等を   分	「。 特に理解度チェックを行って算出する。60点以」 定理解しておくこと。  ② 遠隔授業対応  ③ 遠隔授業対応	いが 週政資のの需い国金る財理高レババリ係外 ののいい経シルルリーの為工行 ののいい経シルルリーの為工行 ののいい経シルルリーの為工行 ののいのに対している。 ののいのに対している。 ののいのに対している。 ののには、 の	毎よりでは、	□ 実務経験のある教員による授業を展開します。 □ 実務経験のある教員による授業  「経済学との関連について理解する。 な立、資本主義と社会主義の違いといいて理解する。 企業、政府)の活動と経済の循環と理解し、説明できる。 ・ 説明できる。 ・ おいて理解し、説明できる。 ・ さいて理解し、説明できる。 ・ さいて理解する。 ・ とと前壊について理解する。 ・ とと前壊について理解する。 ・ は、発の日本経済について理解する。 ・ は、として金融の関連がらも説明できる。 ・ をとの関連がらも説明できる。 ・ をとの関連がらも説明できる。 ・ をとの関連がらも説明できる。 ・ をとがなる。 ・ ととがなる。 ・ ととがないて理解する。 ・ とをはないて理解する。 ・ とをはないて理解する。		

試験     発表     相互評価     態度     レポート     その他     合計       総合評価割合     0     0     0     80     20     100       基礎的能力     0     0     0     80     20     100       専門的能力     0     0     0     0     0     0     0			4週		基本的人権の保障			権利の意味、自由権、社会権の概要について理解する				
6년 国会と方法   国会の経験等について理解する。   対理					新した人権				参政権等について理解する。			
2月   内閣・行政   内閣のの部所について理解する。   2月   2月   2月   2月   2月   2月   2月   2											·る。	
おり												
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##												
### ### ### ### #####################		9週									-る。	
### 111回 選挙と改善的 選挙制度の特徴と課題について理解する。   133回 国際政治の動画   海教制度の開展と関係と同じて理解する。   133回 国際政治の動画   海教制度の開展体について理解する。   153回   まとめ   国際政治の動画   海教制度の開展体について理解する。   153回 まとめ   国際政治の動画   ア国内容   ア												
4th   12回 国際財産・日際法   国際地名の特徴と課題について開発する。									-	C- <del>11</del> , 7 & 0		
400   13週 国際政治の動向   治療政治の動向   治療政治の国際開係について理解する。	l 1 +											
14週   地域主義とグローバリズム   地域旅合の海流について理解する。   15週   まとめ   後期限業の総括   日本   16週   夕野   夕野   夕野   学習内容と到達目標   到達レベル   投業週   前2,前3,前   11,前12,前   11,前12,前12,前   11,前12,前		4thQ	thQ 13ì									
15週 まとめ   後期授業の総括   16週   160												
16世												
子宮   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日			<u> </u>		<u>ธะพ</u>							
分野   学習内容   学習内容   学習内容の対象目標   日本の対象を説明できる。   日本の対象   日本の数象   日本の数	エデルコ	マカロ		_	一一							
世界の資源、産業の分布や動向の概要を説明できる。 3 前2,前3,前 9,前10,前 11,前12,前 11,後14 日底族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共 3 前2,前3,前 11,前12,前 11,後 12 日底族、宗教、生活文化の多様性と理解し、異なる文化・社会が共 12,前 11,4 後 14 日発を 12 日本を含む 世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。 3 前2,前3,前 12 前2,前3,前 12 前2,前3,前 12 前2,前3,前 12 前2 前3 前2 前3,前 13 前2 前3,前 13 前2 前3,前 14 後 2 後 3 後 4 後 5 後 6 後 7 後 8 後 9 後 14 日本と会立世界 2 本 2 本 2 本 2 本 2 本 2 本 2 本 2 本 2 本 2		<i>)</i>	<u> </u>		/于白			<b>15</b>			四法し ベル	拉莱油
世界の資源、産業の分布や動向の概要を説明できる。 3	刀類			刀钳		子首内谷	子首内合の到連日標	<u>F</u>			到達レバル	1
地理歴史的							世界の資源、産業の分布や動向の概要を説明できる。				3	9,前10,前  11,前12,前
世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。							民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。			3	12.前14.後	
新国主義諸国の抗争を終了このの世界大戦に至る日本を含む世界 3 (2) (2) (2) (3 (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4							世界を一体化してい	いく過程について、	その概要を説明で	きる。	3	12
現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活動との表記がした。						))±j	帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。			含む世界 。	3	14,後2,後
A間の生涯における青年期の意義と自己形成の課題を理解してして、自己の生き方および他者と共に生きていくことの重要性について考察できる。   10.15   10.2 m 3.m 4.m 5.m 6.m 7.m 6.m 7.m 6.m 7.m 6.m 7.m 8.m 14.後 1.後 2.後 3.後 4.後 5.後 6.後 7.後 6.後 9.後 1.0 を通して、その成果を認定させ、資料を活用して探究し、その成果を認定させ、資料を活用して探究し、その成果を認定させ、資料を活用して探究し、その成果を認定させ、資料を活用して探究し、その成果を認定させ、資料を活用して探究し、その成果を認定させ、資料を活用して探究し、その成果を認定させ、資料を活用して探究し、その成果を認定させ、資料を活用して探究し、その成果を認定させ、資料を活用して探究し、その成果を認定したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から展望できる。   3 について人文・社会科学の観点から展望できる。   3 について人文・社会科学の観点から展望できる。   4 後 5.後 6.後 7.後 8.後 9.後 1.0 後 1.1 後 1.2 後 1.3 後 1.4 後 1.5 を 1.0 を				公民的分野			界の動向の概要を説	)冷戦の展開から <sup>-</sup> 説明し、そこで生し	その終結に至る日本 ごた諸問題を歴史的	を含む世 に考察で	3	9,前14,前 15,後13,後
A文・社会   社会   社会   社会   社会   社会   社会   社会										3	前15	
公民的分野			文・社会社会				れまでの哲学者やタ	E人の考え方を手持	卦かりにして、自己	の生き方	3	前8
現代社会の 現代社会の 考察現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から展望できる。315,前14,前11,前12,前13,前14,前15,64.後 2,後3,後 4,後5,後 6,後7,後 8,8,後9,後 10,後11,後 11,被15評価割合試験発表相互評価態度レポートその他合計総合評価割合0008020100基礎的能力0008020100専門的能力000000		人文· 科学					自己が主体的に参画 義などの基本原理を 説明できる。	面していく社会にで 定理解し、基礎的が	ついて、基本的人権 な政治・法・経済の	や民主主しくみを	3	4,前5,前 6,前7,前 8,前14,後 1,後2,後 4,後後4,後 5,後6,後 7,後8,後 9,後10,後 11,後12, 13,後14,後
試験     発表     相互評価     態度     レポート     その他     合計       総合評価割合     0     0     0     80     20     100       基礎的能力     0     0     0     80     20     100       専門的能力     0     0     0     0     0     0     0						現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から展望できる。  5,前6,7,前8,9,前1,前1111,前111111111111111111111111					5,前6,前 7,前8,前 11,前12,前 11,前12,前 13,前14,前 15,後3,後 4,後6,後3,後 6,後6,後 10,後6, 11,後	
総合評価割合     0     0     0     80     20     100       基礎的能力     0     0     0     80     20     100       専門的能力     0     0     0     0     0     0     0	評価割合											
基礎的能力     0     0     0     0     80     20     100       専門的能力     0     0     0     0     0     0	試験		発	 表	相互評価	態度	レポート	その他	合計			
専門的能力 0 0 0 0 0 0	総合評価割合 0		0		0		0	0	80	20	100	)
	基礎的能力	0	0		0		0	0	80	20	100	)
分野横断的能力 0 0 0 0 0 0	専門的能力		0		0		0	0	0	0	0	
			0		0		0	0	0	0	0	